

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 1 月 19 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			法令を順守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			法令で必要とされる配置数に加えて指導員又は保育士を 1 名以上配置（常勤換算による算定）しています
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3		1	階段があるためすべての人に提供するには工夫が必要ですができるだけ障害に配慮して利用しやすいよう工夫していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			スタッフ全員でその都度、反省点や改善点を共有している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	2	1	支援後のフィードバックで聞いたことは対応しているがすべて対応しきれていない
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	2	1	開校まもないため未実施だが、支援後の保護者様へのフィードバックで伺ったことを業務に取り入れ改善につなげています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		1	第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが、必要に応じて検討します。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			入職時初任者研修の他、適宜研修参加するなど自己研鑽に努めています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		支援後の会議や記録を振り返りながら課題を分析して計画を立てていきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	1	標準化については整備中ですが、アセスメントツールを使用し職員間、保護者様にも理解できる表現を使用してわかりやすいものを採用していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			毎回支援終了後に振り返りを指導員全員で行い次回プログラム作成をしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			毎回支援終了後に振り返りを指導員全員で行い次回プログラム作成時に継続

					するもの変更するものを検討しています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	3		季節に応じたプログラムに取り入れるように心がけています。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		開校間もないため対象となる利用者が少ない。集団活動の計画をしていないが小集団での活動は実施しています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			朝礼時、必要に応じて適宜話し合いながら確認しています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			支援終了後に必ず振り返り次回の支援プログラム作成の基礎にしています
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			毎回支援記録を作成して次の支援に活かしています。

	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2		計画期間の他、必要に応じて見直しも検討します。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	1	1	すべての項目に対する支援内容が設定されていないが、アセスメントに結果から優先順位をつけ個々に応じた計画を作成しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	1	3		新規事業所のためサービス担当者会議への参加はまだありませんが、最もふさわしい人間が参加します。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	1	1	必要に応じて連携を図り、日々の情報も共有していきます。送迎は行っていません。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2		該当者はいませんが、必要に応じて主治医等との連絡体制を整えていきたいです。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2		ご本人をより知るためにも、就学前や他の事業所共情報共有を図りより支援を行いたいと思います。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		2	2	対象となるお子様はいませんでした。しっかり引き継ぎを行いたいと考えます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			研修会や会議等に積極的に参加して必要に応じて連携していきます。

との連携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	2	積極的に交流を図ます。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	3	1		自立支援協議会事業所部会、こども部会に参加しています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			支援後に必ずフィードバックをおこない保護者様と連携していきます。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	1	今後ペアトレなども積極的に取り入れながら支援を行っていききたいと思います。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			常に丁寧かつわかりやすく説明するように心がけます。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1		いつでも相談できることをお知らせし、希望された際は適切に相談に応じます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3	保護者様同士の交流も必要に応じて機会を作っていきたいと思います。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	2		苦情受付担当者を決め、いつでも相談解決できる体制を整えています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2		2	月行事や活動予定を保護者様にわかりやすく伝えられるように会報等の発行して情報発信していきたいです。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	4			個人情報の取り扱いについて職員間で共通した認識をもち、個人情報は鍵付き書庫で管理・徹底しています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			障害に精通した職員を配置しています。個々の障害に合わせた配慮、工夫を徹底していきます。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	1	地域の皆様とも交流を深めていきたいと思っています。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			各マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施しています。その都度改善点について検討していきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			各マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施しています。その都度改善点について検討しています。

④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			定期的に職員研修を行います。さらに職場外研修へも積極的に参加します。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			身体拘束のマニュアルを整備して、職員間で共有していきます。さらに個別支援計画ではその都度保護者様に説明して同意を得ます
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		2	2	食べ物の提供はありません
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1		3	事例集は整備していませんが報告書を作成して危機管理をしています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 19 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上校

保護者等数（児童数）2、回収数 2、割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2			
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	2			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	2			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2		まだ実施していないが機会を作っていきたい
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2		保護者同士の連携も検討していきたい
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか		2		自己評価結果をしっかりと伝えて生きたい
⑭	個人情報に十分注意しているか	2				
非常時	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2			

等 の 対 応	⑬	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			
満 足 度	⑭	子どもは通所を楽しみにしているか	2			
	⑮	事業所の支援に満足しているか	2			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。